

今後の大雨への警戒と洪水・浸水発生後の衛生状態に関する注意喚起

令和7年9月16日(DPS 総25第44号)

在デンパサール日本国総領事館

●最近、大雨については警報が引き続き発令されており、今後も大雨、洪水、浸水の発生には十分注意する必要があります。引き続き、インドネシア気象庁(BMKG)などから情報収集を行うと共に、安全対策に努めてください。BMKG のホームページ(インドネシア語)は <https://www.bmkg.go.id/> です。

●多くの箇所で洪水、浸水が発生していますが、インフラの整備が十分でない当地において、洪水、浸水時の水はもちろんの事、上水道へに汚水が混入する可能性があります。また、洪水、浸水後に残った汚泥を原因として、衛生状態悪化による感染性胃腸炎(腸チフスなど)の発生、各種疾病の蔓延が予想されます。

●飲用、洗顔、手洗い、食事の準備等には極力ペットボトルや煮沸した水を使用するようにしてください。

●洪水、浸水後の片付けの際は、汚染された水に接することによる細菌やウィルス感染に注意して、汚水や汚泥に直接触れないよう極力注意し、小さな擦り傷などからも感染する破傷風予防のため長袖、長ズボン、ゴム手袋、マスク、底の厚い靴を着用し、片づけ終了後は石けんなどを使用して清潔な水で体を洗い流すなど対策をしてください。

●外出の際には、乾いた汚泥が空中に舞い上がります。その粉塵に含まれる病原菌への対策としてマスクを着用するほか、帰宅後の十分な手洗い、うがい、入浴や着替え等の対策をできる限り行うようにしてください。

●また残った水による蚊の増加、デング熱増加の可能性にも注意し、残り水は早めに処分してください。

●以下のサイト(厚生労働省:被災した家屋での感染症対策)も参考にしてください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00341.html

(了)